

 AUTOBACS
GPR
KARTING SERIES
2025

MIZUNAMI ROUND RACE REPORT



2025年 全日本カート選手権 OK部門 第7戦・第8戦

2025年 ジュニアカート選手権 ジュニア部門 第7戦・第8戦

2025年 ジュニアカート選手権 ジュニアカデット部門 第7戦・第8戦

2025年 Rok CUP JAPAN GPR RokSHIFTER 第7戦・第8戦



2025年10月4日～5日
フェスティカサーキット瑞浪



OK Class

『第7戦:瑞浪を得意とする酒井仁がタイトルに大きく近づく優勝!』

エントリー後に1台が欠場となったため、15台でのレースとなったOK部門。雨も上がり回復した路面となったタイムトライアルでは、全車がスリックタイヤで出走し、瑞浪育ちでここを得意としている酒井仁(KF MOTORSPORT)がトップタイムをマーク。ルーキーの澤田龍征(HIROTEx RACING)が2番手につける。

13時頃にスタートとなる第7戦決勝。直前にやや強めの雨が降り出したことで、全車がレインタイヤに付け替えての出走となった。スタートではPPの酒井が好ダッシュを見せホールショットを獲得。そのまま後続を引き離しにかかる。2番手には皆木駿輔(DragoCORSE)、3番手に酒井龍太郎(ミツサダ PWG RACING)が続く。序盤から51秒台へとタイムを伸ばした酒井仁は、じりじりと後続を引き離していき独走態勢を固めていく。2番手争いは皆木にデグチャリョブ・ティモフェイ(TEAM EMATY)が接近していく。ついには皆木をかわし2番手に上がったティモフェイは、皆木を突き放し単独走行に。

トップの酒井仁は全く後続を寄せ付けることなく走り切り、今季4勝目を獲得。ポイントリードを盤石なものとした。2番手にはティモフェイが入るがプッシングでタイムペナルティをとられ降格。2位皆木、3位に酒井龍太郎となった。

優勝ドライバー:酒井 仁 (No.2 KF MOTORSPORT)

「タイム差があったので楽なレースでした。途中雨が強く降ってきましたが、問題なかったです。次も1位を獲得できるように頑張ります。」

『第8戦:デグチャリョブ・ティモフェイが盤石の走りで初優勝!』

第8戦のPPはデグチャリョブ・ティモフェイが獲得。第7戦の雪辱となるか注目される。2番手には酒井仁が続く、連勝を狙う。スタートではティモフェイが好ダッシュでホールショットを獲得。逆にアウト側スタートの酒井仁は出遅れることとなる。序盤はティモフェイを先頭に酒井龍太郎、手塚大雅と続くが、5周目には酒井仁が3番手まで上がり、前2台を追っていく。トップのティモフェイは、酒井龍太郎と一定距離を保ったまま周回を重ねていき、トップをキープし続ける。酒井龍太郎、酒井仁も追ってはいるものの仕掛ける距離には至らない。

レースは、終始トップを走ったティモフェイが逃げ切り2年目で初優勝。2位に酒井龍太郎、3位に酒井仁となった。

優勝ドライバー:デグチャリョブ・ティモフェイ (No.32 TEAM EMATY)

「嬉しいです。昔から雨は得意でした。最高の気分です。走り方などを考えながら走っていましたが、自分の走りに集中できたと思います。」



Junior Class

『第7戦:坂野太絃が7連勝でタイトルに王手!』

開幕以来土つかずの6連勝と、タイトル戦線をリードしている坂野太絃(Peak Performer with THISTLE)。今回でタイトルを決定する公算が大きい。

タイムトライアルではやはり坂野がトップタイムをマークし、今回もPP賞を獲得する。ドライコンディションとなった第7戦決勝でも、坂野がスタートを決めると一気に後続を引き離していく。2番手には昨年のカデットチャンピオンの新橋武(Sigma Racing)、3番手に林樹生(HIROTEX RACING with IMPUL)が続く。トップの坂野、2番手の新橋は単独走行で周回を重ねていき、その後方で3番手争いが激化。林、井ノ瀬喜仁(ハルナカートクラブ)、飯田一仁(TAKAGI PLANNING)、北中一季(HIROTEX RACING with IMPUL)らが次々と順位を入れ替えるバトルを見せる。トップの坂野は終盤にはペースを落とせるほどのリードを広げそのままチェッカー。開幕以来の連勝を7に伸ばした。2位に新橋、3位に井ノ瀬が入った。

優勝ドライバー:坂野 太絃 (No.88 Peak Performer with THISTLE)

「ミスもあってタイムのばらつきもありましたが、みんなよりは速く走っていたので良かったです。毎回言っていますが、調子に乗らないように次も頑張ります。」

『第8戦:坂野太絃が8連勝でタイトル獲得!』

第8戦PPも坂野が獲得。レースでも好スタートからリードを広げていき、第7戦と全く同じ展開となる。3番手には北中が上がり、新橋とバトルを展開。しかしここは新橋が踏ん張り2番手をキープする。新橋には飯田一仁が接近し、終盤に新橋をとらえ逆転。しかしトップの坂野は遥か前方を走り、独走のままチェッカー。破竹の8連勝で締めくくり、今季のチャンピオンを獲得した。2位には飯田、3位には北中が入った。

優勝ドライバー:坂野 太絃 (No.88 Peak Performer with THISTLE)

「連勝もできたしレインでも速かったので調子も良かったのかな。去年タイトルが取れなくて、練習してきた成果が出たのだと思う。みんなに感謝しています。」



Cadets Class

『第7戦:最後まで続いたバトルを制し小林尚瑛が初優勝』

カデットクラスは18台が参加。今回の結果次第では早くもチャンピオンが決する可能性もあり注目された。タイムトライアルでのトップタイムは北村紳(KWS Speed)、2番手には川井雄太(AUTO-TEC-RACING)が続く。

ドライコンディションで始まった第7戦決勝。レースは北村がリードをとり周回を重ねていく。やや離れた2番手に地元の小林尚瑛(Ash)、3番手にはランキングトップの阿部瑠緯(ミツサダPWG RACING)が浮上。その阿部を捉えたのは、今回初参戦となった水口壱晴(HIGUCHI RACING TEAM)で3番手に上がってくる。レースが終盤にはいった10周過ぎ、ぽつぽつと雨が降り始めると、次第に強さを増していく。この雨に足元をすくわれたのがトップの北村。11周目の2コーナーで単独コースアウトを喫しリタイアとなる。

これでトップに立ったのは水口。しかし、小林が背後でマークし、ラスト2周で逆転するとそのままチェッカー。嬉しい初優勝を飾った。

優勝ドライバー:小林尚瑛 (No.12 Ash)

「始めは追いつけなかったですが、急に雨が降ってきて北村選手がいなくなって勝つことができました。終盤のバトルはまずいと思っていました。Ashの皆さん、ありがとうございます。」

『第8戦:加納康裕、大逆転でデビューウィン!』

第8戦は18周。まずはPPも水口がホールショットを奪うが、オープニングラップから激しくトップを奪い合い、2周目には北村がトップに出る。その北村を追ってきたのが、今回初登場となった加納康裕(TOPLABO)。9番グリッドからスタートした加納は、7周目には2番手に浮上しトップ北村を追うと、終盤には北村とマッチレースを展開する。

最終ラップ、5コーナーで北村が前に出れば、バックストレートエンドの11コーナーでは加納が逆転。そのまま北村を封じ込めた加納がGPR初参戦で初優勝を飾った。

優勝ドライバー:加納康裕 (No.8 TOPLABO)

「スタートで何台か抜いたことで冷静になれました。去年の8月以来の瑞浪でしたが、優勝できてとても嬉しいです。絶対優勝するんだって思って走っていました。」



Shifter Class

『第7戦:今季初参戦の安堂祐が優勝!』

8台が参加したシフタークラス。今回は、GPR初年度にこのクラスでチャンピオンを獲得した安堂祐(TEAM EMATY)がスポット参戦し注目を集めた。ウェットコンディションとなったタイムトライアルでは、ベテランの佐藤奨二(TOKAIDENSO DMS)がトップタイムを獲得するが、トラックリミット違反で降格。瑞浪育ちのGTドライバー平手晃平(CVSTOS Racing ANEST IWATA)がPPを獲得する。またランキングトップの伊藤聖七(Ash)もペナルティにより最後尾グリッドからのスタートとなる。

スタートに備え、ウォームアップを終えてグリッドに着いたところで、PP平手がエンジンストール。これにより、平手は最後尾グリッドへ降格となり、レースは1周減算の15周で行われた。好スタートを見せオープニングラップにトップを奪ったのが安堂。その後方に中里龍昇(TONYKART R.T.J.)が続く。その中里を捉え2番手に上がってきたのが伊藤。その勢いのままトップ安堂に迫っていく。

レース終盤に安堂に追いついた伊藤だったが仕掛けることはできず、トップを守った安堂が元チャンピオンの貴録を見せる優勝を飾った。

優勝ドライバー:安堂祐 (No.5 TEAM EMATY)

「練習でも8周くらいしか走っていなかったのに、16週の決勝レース、最後の3周くらいはやばかったです。第8戦は20周……。体力が心配ですが頑張ります。」

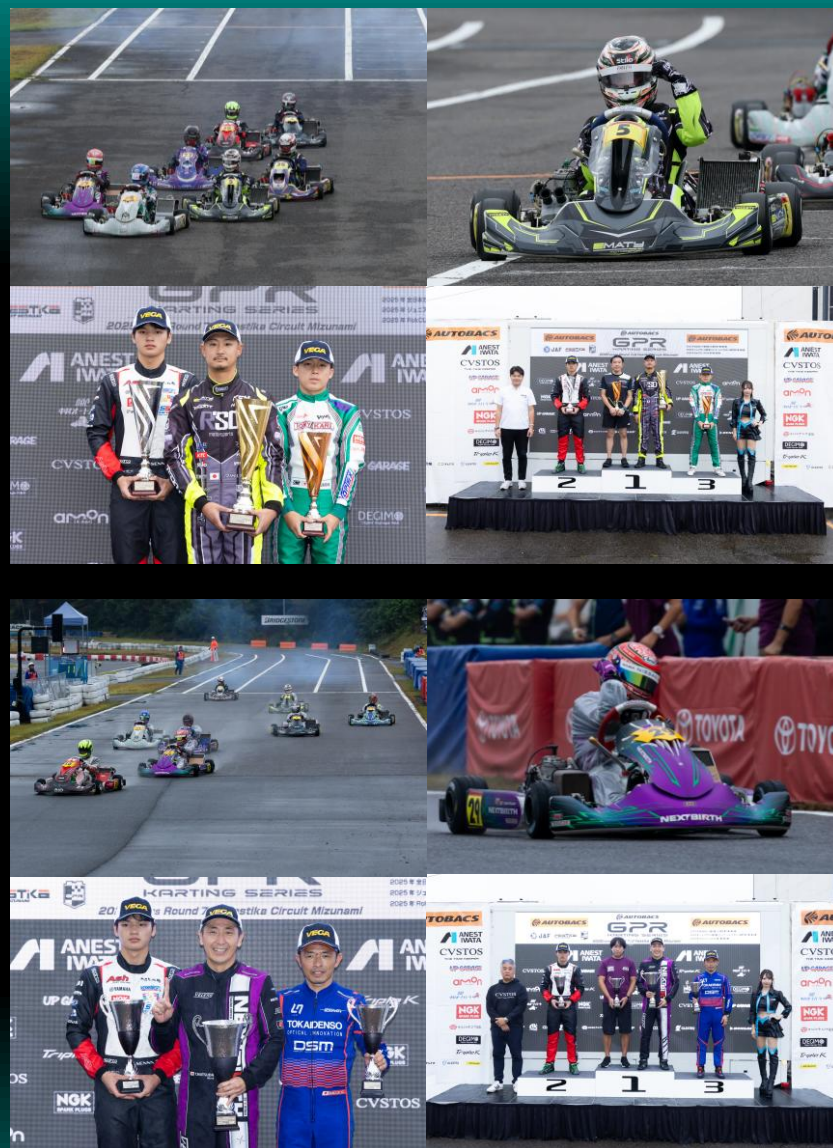
『第8戦:松田次生、30年ぶりのカートレース優勝!』

第8戦のPPは松田次生(NEXTBIRTH with HKC)。スーパーGTに続いて優勝となるか。20週の決勝は伊藤が好スタートでトップに立つ。2番手に松田、3番手に安堂が続いていく。序盤は伊藤が順調にトップを走っていたが、徐々に松田が接近し、5周目のタコつぼで逆転。すると、松田のペースに伊藤はついていけず、松田はトップを独走することとなる。2番手伊藤の背後には平手が接近していく。

トップの松田は、大きくリードを奪うとそのまま独走でチェッカー。「1996年のアジアパシフィック選手権以来」、30年ぶりのカートレース優勝を飾った。2位に伊藤、3位は佐藤奨二。平手は捨てバイザーをコース上に捨ててしまったため、失格となった。

優勝ドライバー:松田次生 (No.29 NEXTBIRTH with HKC)

「カートで勝ったのは覚えてないくらい久しぶりだし、オーバーテイクもできたので最高のレースでした。タイヤの持たせ方などは経験があるので、それがアドバンテージになったのかもしれない。これをきっかけに、僕でも勝てたのだから(笑)もっと多くのプロドライバーにシフターに出てほしいと思います。」



Point Standings - OK

※有効ポイント:全10戦中8戦

[illegible]

Point Standings - Junior

※有効ポイント:全10戦中8戦

[illegible]

Point Standings - Cadets

※有効ポイント:全10戦中8戦

Cadets					SUZUKA 5/11				MOTEGI 6/15				GOTEMBA 8/31				MIZUNAMI 10/5				SUZUKA 11/16			
					Round 1		Round 2		Round 3		Round 4		Round 5		Round 6		Round 7		Round 8		Round 9		Round 10	
Pos.	Name	Team	有効	合計	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.	Pos.	Pnt.
1	阿部 瑞穂	ミツサダ PWG RACING	168	168	2	22	8	13	1	25	1	25	1	25	1	25	3	20	8	13				
2	久田 朱馬	ガレージC	153	153	1	25	5	16	2	22	2	22	3	20	3	20	7	14	7	14				
3	北村 紳	KWS Speed	110	110	4	18	1	25	7	14	10	0	5	16	6	15	17	0	2	22				
4	小林 尚瑛	Ash	110	110	9	12	6	15	3	20	4	18	15	0	13	0	1	25	3	20				
5	原澤 稜	RT WORLD	97	97	7	14	3	20	5	16	7	14	6	15	15	0	18	0	4	18				
6	今村 颯星	HIGUCHI RACING TEAM	80	80	6	15	4	18	4	18	6	15	7	14	11	0	10	0	17	0				
7	丹羽 舜也	LUCE MOTOR SPORTS	68	68	12	0	15	0	-	-	-	-	2	22	4	18	9	12	5	16				
8	内田 丈一郎	RT WORLD	67	67	10	0	10	0	8	13	8	13	9	0	8	13	5	16	9	12				
9	ユン イサック	LUCE MOTOR SPORTS	65	65	5	16	7	14	6	15	3	20	-	-	-	-	-	-	-	-				
10	田中 瀧夫	チームナガオ	58	58	3	20	2	22	-	-	-	-	13	0	5	16	-	-	-	-				
11	加納 康裕	TOPLABO	43	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	18	1	25				
12	鈴木 秀弥	REON RACING TEAM	40	40	-	-	-	-	16	0	17	0	4	18	2	22	-	-	-	-				
13	水口 志晴	HIGUCHI RACING TEAM	37	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	22	6	15				
14	角田 純六	SCUDERIA SFIDA	25	25	8	13	9	12	-	-	-	-	-	-	-	-	11	0	12	0				
15	ユン ダニエル	LUCE MOTOR SPORTS	16	16	11	0	11	0	12	0	5	16	-	-	-	-	-	-	-	-				
16	川井 雄太	AUTO-TEC-RACING	15	15	16	0	14	0	13	0	12	0	12	0	16	0	6	15	11	0				
17	井ノ瀬 由茂	ハルナカートクラブ	14	14	15	0	13	0	9	0	15	0	8	0	7	14	-	-	-	-				
18	西村 斉恭	Ash	13	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	13	18	0				
-	岩水 聖七	73R	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0	9	0	-	-	-	-				
-	鈴木 舜	チームエッフェーラ	0	0	-	-	-	-	10	0	9	0	-	-	-	-	-	-	-	-				
-	箕浦 公紀	Ash	0	0	14	0	18	0	-	-	-	-	-	-	-	-	12	0	10	0				
-	新橋 彩加	Sigma Racing	0	0	18	0	16	0	DNF	0	16	0	14	0	10	0	16	0	14	0				
-	渡部 慎乃亮	REON RACING TEAM	0	0	-	-	-	-	11	0	11	0	-	-	-	-	-	-	-	-				
-	小関 朱晴	ミツサダ PWG RACING	0	0	-	-	-	-	15	0	13	0	11	0	12	0	-	-	-	-				
-	京竹 玖龍	AP SPEED	0	0	13	0	12	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
-	丹羽 純士	LUCE MOTOR SPORTS	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	0	13	0				
-	木村 星羅	EHRE MOTOR SPORTS	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	0	15	0				
-	三上 留依	KF MOTORSPORT	0	0	17	0	17	0	14	0	14	0	-	-	-	-	-	-	-	-				
-	劉 柄辰	WUJEE&HIGUCHI RT	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	0	16	0				
-	村杉 星弥	ガレージ茶畑	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	DNF	0	14	0	-	-	-	-				

Point Standings - Shifter

※有効ポイント:全10戦中8戦

[illegible]

Point Standings - TEAM

Cadets

Pos.	Team	合計
1	ミツサダ PWG RACING	168
2	ガレーシC	153
3	LUCE MOTOR SPORTS	133
4	RT WORLD	126
5	HIGUCHI RACING TEAM	117
6	KWS Speed	110
7	Ash	110
8	チームナガオ	58
9	TOPLABO	43
10	REON RACING TEAM	40
11	SCUDERIA SFIDA	25
12	AUTO-TEC-RACING	15
13	ハルナカートクラブ	14
-	Sigma Racing	0
-	EHRE MOTOR SPORTS	0
-	WUJEE&HIGUCHI RT	0
-	73R	0
-	ガレーシ茶畑	0
-	KF MOTORSPORT	0
-	チームエツフェガーラ	0
-	AP SPEED	0

Junior

Pos.	Team	合計
1	PeakPerformer with THISTLE	200
2	HIROTEX RACING with IMPUL	160
3	Vitec Racing	133
4	TAKAGI PLANNING	76
5	Sigma Racing	71
6	ハルナカートクラブ	67
7	ERS with SACCESS	58
8	Front Row 7 Racing & Co	51
9	AP SPEED	15
-	DELIGHTWORKS RACING	0
-	ラマーレRT	0
-	チームエツフェガーラ	0

OK

Pos.	Team	合計
1	KF MOTORSPORT	154
2	TEAM EMATY	152
3	Drago CORSE	147
4	ミツサダ PWG RACING	128
5	YAMAHA MOTOR Formula Blue	96
6	K.SPEED WIN	87
7	HIROTEX RACING	76
8	Zi-Vivre RT	57
9	Racing Square GEN	53
10	HRT	15
11	GLEATEQ Motorsports	15

Shifter

Pos.	Team	合計
1	Ash	160
2	Tony Kart R.T.J.	132
3	NEXTBIRTH wis HKC	101
4	RSイディアびいたあばん	50
5	TEAM EMATY	43
6	MOMOX KART RACING	42
7	KP-BUZZ	36
8	TOKAIDENSO DSM	20
9	CVSTOS Racing ANEST IWATA	20
10	MID competition	16
-	ハラダカートクラブ	0
-	HRT	0
-	LAM Racing	0
-	RS nakatsuchi	0

**NEXT ROUND »» SUZUKA CIRCUIT SOUTH COURSE
2025.11.15 (Sat) - 16 (Sun)**

MORE DETAIL »» <https://www.gpr-race.com/>

